

日興アセット、「投資信託に関する意識調査」分析結果を発表

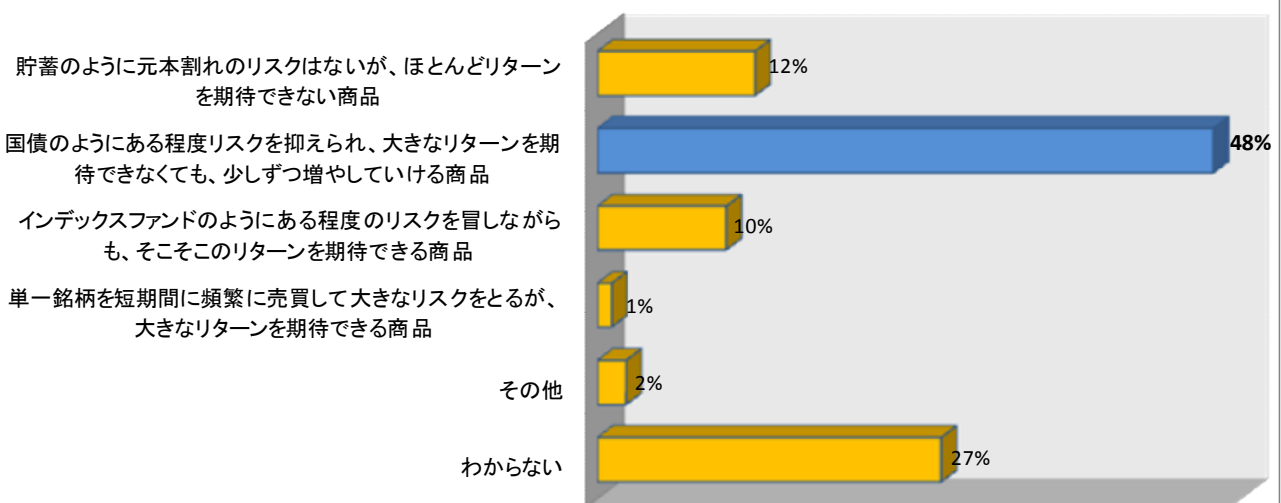
## 「投資未経験者もある程度ならリスクテイクに前向き」

- ◆ 投資未経験者の約半数が、投資先として「ある程度のリスクで少しずつ増やせる商品」を選択  
 ー元本割れのリスクのない預貯金より、ある程度のリスクに抑えて地道にリターンを狙う商品を支持
- ◆ 投資をしない理由の第1位は「投資資金がないから」  
 ーリスクよりも資金不足が投資行動の妨げに。「投資はまだ始めていないが、預貯金だけで満足しているわけでもない」との声も

日興アセットマネジメント株式会社(以下、日興アセット)は、2011年12月に行なったアンケート調査「投資信託に関する意識調査」の結果を発表しました。本調査は、日本国内の20～60代までの男女570名を対象にしたもので、対象者を投資信託への関与ならびに経験度から4つのグループ<sup>1</sup>に分け、それぞれの投資や投資信託に関する意識を調査したものです。

投資未経験者のグループでの調査結果によると、余裕資金<sup>2</sup>の使い道として、「預貯金のように元本割れのリスクはないが、ほとんどリターンを期待できない商品」を選択した人は一割程度(12%)にとどまったのに対し、約半数(48%)も的人が「国債のようにある程度リスクを抑えられ、大きなリターンを期待できなくても、少しずつ増やしていける商品」を選択しており、投資未経験者であっても、ある程度ならリスクを取って投資することに前向きであることが明らかになりました。

### 投資未経験者が選ぶ余裕資金の投資先

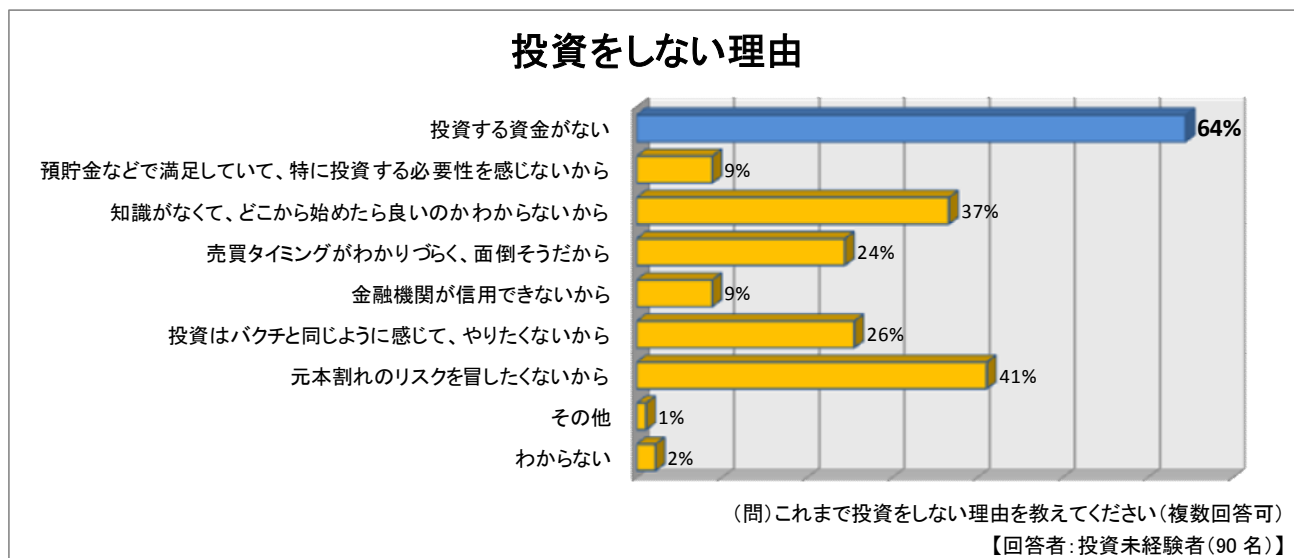


(問)もしあなたの手元にしばらく使わない余裕資金があるとしたら、どのような金融商品をだったら投資してもよいと思いますか？

【回答者:投資未経験者(90名)】

<sup>1</sup> G1: 現在の投資信託保有者(325名)、G2: 過去の投資信託保有者(57名)、G3: 投資信託以外の投資経験者(98名)、G4: 投資未経験者(90名)の4グループ  
<sup>2</sup> 各回答者が投資に充ててもよいと考える資金

同じ投資未経験グループが投資をしない理由(複数回答)としては、「投資資金がない」(64%)が最も多く、次いで「元本割れのリスクを冒したくない」(41%)となり、投資未経験者にとって「元本割れのリスク」より「投資資金不足」が投資行動を妨げている要因としてより大きいことがわかりました。また、投資未経験者の間では、少額から投資を始められる投資信託に対する認識が低いことが読みとれる結果ともなりました。その他の理由として「知識がなくて、どこから始めたら良いのかわからない」(37%)という声も多い中、「預貯金などで満足していて、特に投資をする必要性を感じない」(9%)への回答は少ないことから、低金利水準が続く預貯金だけでは満足せず、できれば投資を検討してみたいという投資未経験者の気持ちも浮き彫りとなりました。



日興アセット マーケットコミュニケーション部長の汐見拓哉は、今回の調査結果について以下のようにコメントしています。「投資未経験者は預貯金のような元本保証にばかりこだわっているわけではなく、ある程度ならリスクを取って投資することに対して前向きであると分析しています。これは、預貯金だけでは不満だが、いわゆる『投資家』になりたいわけじゃないという投資未経験者の心理を映し出したものと考えています。日興アセットではこのような、仕方なく預貯金においてあるような資金でも、安心して投資できる商品があれば投資を始めたいというニーズに応えた商品の拡充に尽力していきます」。

本調査は、日興アセットが主催するアンケート組織「投信ご意見番」にて2011年12月22日から27日の間、日本国内の20～60代までの男女570名を対象にして、オンラインによるアンケートを実施したものです。調査結果は公式ホームページ(<http://www.nikkoam.com/goikenban/questionnaire>)でご確認いただけます。

以上

#### 【調査概要】

調査概要:投資信託に対する意識アンケート

調査方法:「投信ご意見番」インターネットリサーチ

調査時期:2011年12月22日(木)～12月27日(火)

サンプル数:20～60代 男性313名 女性257名、合計570名

## 投信ご意見番について

「投信ご意見番」は日興アセットが主催するウェブサイト上でのアンケート組織です。サポーター会員として登録いただいているのは日本国内の18歳以上の男女約1650名。そのサポーター会員を対象に不定期のアンケートを実施し、アンケート結果を商品の開発や資料作成に役立てています。過去のアンケート結果は「投信ご意見番」アンケート結果(<http://www.nikkoam.com/goikenban/questionnaire>)にてご確認ください。

## 日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメント\*(以下、日興アセット)は、アジア太平洋地域を中核として展開する「アジアの資産運用会社」で、運用資産残高 12.8 兆円\*\*を有します。1959 年の設立から半世紀以上にわたり、個人投資家のみなさまには多様な金融商品を、年金基金や事業法人などの機関投資家のみなさまには付加価値のある高品質な運用サービスを提供しています。

日興アセットは、銀行や証券会社、ゆうちょ銀行など国内の販売チャネルと、海外に広がる販売チャネルをあわせて、アジア太平洋地域で最大規模の300社超の販売ネットワークを通じてお客さまに投資信託を提供しています。主に日本株式や債券、不動産投資信託(REIT)に投資する自社運用のファンドに加え、世界の優れた運用会社の運用力を活用する「ワールドシリーズ・ファンド・プラットフォーム」により、お客さまのニーズに合った幅広い商品をご提供しています。

1999年に国内初の社会的責任投資(SRI)ファンドを設定したほか、国内の資産運用会社として他に先駆けてISO14001(環境マネジメントに関する国際標準規格)の認証を2001年に取得するなど、社会的責任活動に積極的に取り組んでいます。また、リップパー・ジャパン、アジアインベスター、R&Iなどの外部評価機関から、権威ある賞を受賞しています。

日興アセットが擁するネットワークは、東京本社をはじめ、シンガポール、香港、マレーシア、中国、オーストラリア、ニュージーランドとアジア太平洋の7つの国・地域に広がっており、地域ごとに現地の特性に応じた経営を展開する「マルチ・ローカル戦略」を実践しています。ロンドンならびにニューヨークにもオフィスを構え、米国・欧州ならびに中東で投資家のみなさまにサービスを提供しています。なお中国では国内・海外企業による合弁資産運用会社としては最大級である融通基金管理有限公司の株式の40%、マレーシアでは主要な独立系資産運用会社であるホワンDBSインベストメント マネジメント Berhadの30%、ならびにイスラム系資産運用会社のアジア イスラミック インベストメント マネジメント Sdn. Bhd.の51%を保有しています\*\*\*。またインドにて、インドの有価証券に関する資産運用を行うアンビット・モーリシャス・インベストメント・マネージャーズ・プライベート・リミテッドの50.1%、ならびにアンビット・インベストメント・アドバイザーズ・プライベート・リミテッドの49%の株式の取得も予定しています\*\*\*。

\*日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および海外関連会社の総称

\*\*日興アセットの連結運用資産残高(投資助言を含む)の2011年9月末現在のデータ。

\*\*\*2011年12月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会: 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会